

カルバペネム耐性腸内細菌目細菌 (CRE; Carbapenem-Resistant Enterobacterales)  
による院内感染について <第 6 報>

当院では、カルバペネム耐性腸内細菌目細菌 (CRE) による院内感染について、引き続き対策を強化しております。

### 新たな CRE 陽性患者さんの確認

2025 年 11 月 26 日に入院された患者様の尿検体より CRE が検出されました。

過去、当院に入院歴がある事から、当院の新規検出と判断致しております。

また、2025 年 12 月 1 日に、入院患者さん全員を対象とした 7 回目の CRE 検査（便）を実施しました。 その結果、新たに 1 名の患者さんから CRE が検出されましたが、症状は認められず既に退院しております。

なお、現在院内にて隔離入院中の CRE 保菌者につきましては、尿より検出された上記 1 名の患者様を除き、いずれの方にも症状の発現は確認されておりません。

### 専門家を交えた会議の開催

この結果を踏まえ、2025 年 12 月 15 日には拡大院内感染防止対策委員会を開催（定例会議として開催）いたしました。

当院の感染対策メンバーに加え、静内保健所、国立感染症研究所、道立衛生研究所、さらには徳洲会グループ本部の専門家の方々に、オンラインまたは対面でご参加いただき、感染対策に関するさらなる協議を行いました。専門家の方々から貴重なご意見をいただき、今後も引き続き、すべての患者さんの CRE 検査を定期的に実施し、感染対策を徹底してまいります。

患者さんやご家族の皆さんにはご心配をおかけしておりますこと、心よりお詫び申し上げます。  
また、感染状況や当院の対応については、今後も定期的に情報を公開してまいります。ご理解とご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

なお、本件に関するご意見・お問い合わせは、下記のメールアドレスまでご連絡ください。

【お問い合わせ先】[contact@hidakatokushukai.com](mailto:contact@hidakatokushukai.com)

2025 年 12 月 16 日  
日高徳洲会病院 院長 井齋 健矢